

伊那谷リニアバレーNEWS

～長野県にリニアがやってくる！～

VOL.12 令和6年10月3日発行
長野県 建設部 リニア整備推進局
TEL:026-235-7016
FAX:026-235-7482
E-MAIL:linear-kyoku@pref.nagano.lg.jp

■ リニア中央新幹線建設促進期成同盟会総会が開催されました！

6月7日（金）ザ・キャピトルホテル東急（東京都）にて、リニア中央新幹線沿線10都府県（東京都、神奈川県、山梨県、静岡県、長野県、岐阜県、愛知県、三重県、奈良県、大阪府）からなる、リニア中央新幹線建設促進期成同盟会の総会を開業延期が公表されてから初めて開催しました。令和6年度の事業計画を承認したほか、早期全線開業を求める決議を採択し、同日、岸田文雄内閣総理大臣及び齊藤鉄夫国土交通大臣に要望しました。

副会長の阿部守一知事は、総会冒頭のあいさつにおいて、「名古屋までの開業2027年断念は大変残念。関係の皆様方には様々な課題があると思うが、課題の早期の着実な解決に向けて一層のご尽力を賜りたい。東京一極集中を是正し、リニア中央新幹線の沿線から、新しい暮らし方、新しい働き方そうしたことが実現するように全力で取り組む」と述べました。



リニア中央新幹線建設促進期成同盟会総会 阿部知事挨拶



要望活動(岸田内閣総理大臣)

■ 「地域ポイント」の実証実験を開始しました！（飯田市）

飯田市はふくまるくんカード協同組合と協働で、令和6年7月1日から12月31日までの半年間で、市が指定する講座やイベントに参加した市民に地域ポイントを付与する実証実験を開始しており、地域内経済循環及び地域コミュニティ活性化に有用な手段の1つとされている「地域通貨」の研究を目的としています。なお、地域ポイントは1ポイント1円として市内加盟店で買い物などに使うことができます。

【飯田市HP】

URL：<https://www.city.iida.lg.jp/soshiki/25/2024-tiiki-point.html>



■ リニア中央新幹線建設促進長野県協議会総会を開催しました！

7月9日（火）長野県飯田合同庁舎にて、リニア中央新幹線建設促進長野県協議会の総会を開催しました。総会では、「早期開業・開業時期の明確化」、「建設工事等に対する地域の信頼・住民理解の確保」、「地域振興への積極的な取組」など8項目を決議しました。阿部知事は、「開業延期は大変残念。様々な地域の課題への取組、開業延期で延びた準備期間を地域の未来のために有効に活かしていく取組が必要」と述べました。また、決議した8項目の要請書を阿部知事が、関係市町村長とともにJR東海に要請活動することになりました。



阿部知事挨拶（総会）



総会の様子

■ 木曽谷・伊那谷フォレストバレーが始動しました！

8月8日（木）木曽町文化交流センターにて、関係機関の連携による「産業人材の育成」と人材の交流や集積する知見を活かした「イノベーションの創出」を目指す、木曽谷・伊那谷フォレストバレーのキックオフフォーラムを開催しました。

今後は、この地域が、木や森の「学び」と「暮らし」に会える場所として、多くの方に訪れていただけるよう、人材育成プログラムの開発や森林空間を活用した創業支援等の多彩なプロジェクトに取り組んでいきます。



キックオフフォーラムの様子

【長野県林務部信州の木活用課HP】

URL：<https://www.pref.nagano.lg.jp/ringyo/sangyo/ringyo/seibi/therapy/forest-valley.html>

■ リニア開業に伴う新たな圏域形成に関する関係府省等会議(第2回)が開催されました！

9月9日(月)首相官邸にて、リニア開業に伴う新たな圏域形成に関する関係府省等会議の中間取りまとめが決定されました。阿部知事は、「東京一極集中を是正するための国土政策が極めて重要、リニア開業を契機としたまちづくりをしっかりと進めることによって、新しい暮らし方、新産業の創出に全力で取り組んでいきたい」と述べました。

岸田文雄内閣総理大臣は「品川駅から新大阪駅までの各リニア駅について、整備効果が最大限発揮されるよう、駅周辺を含めたまちづくりを、国として、全面的に支援していく」と述べました。

■ 阿部知事がJR東海丹羽社長に要請活動を行いました！

9月18日(水)JR東海品川本社にて、阿部知事と関係市町村長がJR東海丹羽社長に要請活動を行いました。阿部知事は、地域振興への積極的な取組として、「東京一極集中を是正する多極分散型国土形成するためのモデル地域にしていくために、JR東海の本社機能の一部移転」等を求めました。また、出席された市町村長(飯田市長、伊那市長、駒ヶ根市長、豊丘村長、大鹿村長、木曽町長)からも、工事スケジュールや要対策土などに関する丁寧な説明、JR飯田線に交通系ICカードを導入・整備するなどの利便性向上等、まちづくりに関する意見を述べました。



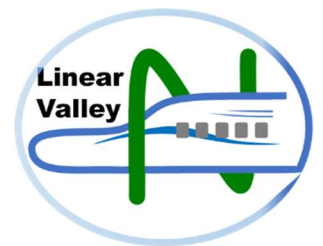
要請活動の様子



要請書の手交(知事と市町村長と丹羽社長)

県リニア整備推進局では、リニア中央新幹線開業に向け、気運の醸成を図るため、資料などへ使用できる右のロゴマークを作成しました。

今後、資料に貼付するなど積極的に使用していくほか、伊那谷リニアバレーNEWSを読まれる皆様にも、使用していただきたいと思います。利用をご希望の場合、担当までご連絡ください。(連絡先:026-235-7016)



©長野県